

キリストの優越性  
聖書箇所:コロサイ人への手紙1章13~15節 (新共同訳)

*<sup>13</sup>For he has rescued us from the dominion of darkness and brought us into the kingdom of the Son he loves, <sup>14</sup>in whom we have redemption, the forgiveness of sins. <sup>15</sup>The Son is the image of the invisible God, the firstborn over all creation.*

13御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。14わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。15御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。

## Introduction

Paul was like religious police, hunting down Christians far and wide, when Jesus showed Himself to him on Damascus road. Paul did not know Jesus Christ at that time and asked Him, **“Who are you, Lord?”** (Acts 9:5).

当時、パウロはまるで宗教を取り締まる警察のように、広域においてクリスチャンの動きを見届けていました。そしてそれは、ダマスコの道でイエスが御自身を示されたときのことでした。パウロはその時、イエス・キリストをまだ知らず、「主よ、あなたはどなたですか」とイエスに尋ねたのです(使徒9章5節)。

Today, when we read Paul's epistle to the Colossians, we learn that he had come to a much fuller understanding of who Jesus is. Paul was not simply converted from being a religious zealot, but was instrumental in proclaiming the gospel to heathen lands. He now sings a different tune in praise of his Lord and Savior. Jesus Christ is supreme and is worthy of our love, adoration, and obedience

今日(こんにち)、パウロのコロサイ人への手紙を読むと、イエスとは誰かということ、パウロがより完全に理解していることが分かります。パウロは単に、自らが、熱狂的なユダヤ教信者から回心したというだけでなく、異教徒の土地に福音を宣べ伝えることにも貢献しました。この聖書箇所では、自分の主であり救い主であるイエス・キリストを賛美するために、パウロがまるで次元の違う歌を歌っているかのように感じられます。イエス・キリストは最高の方であり、私たちが愛を捧げ、崇拝し、服従するにふさわしい方なのです。

Who is this Jesus Christ according to Paul? Our first point can be deduced from a comment he made in **v.13**, as he was giving reasons why we ought to thank God. **Jesus Christ is supreme** because...

では、パウロの言うイエス・キリストとはどのような方なのでしょう。まず最初に、パウロが**13節**で神に感謝すべき理由を述べている箇所から、イエスがどのように卓越された方であるかについて推測することができます。イエス・キリストが卓越した優れた方である理由の一つ目は、『王として君臨している方』だからです。

## I. He reigns as king – verse 13

*<sup>13</sup>For he has rescued us from the dominion of darkness and brought us into **the kingdom of the Son** he loves*

### I. イエス・キリストは王として君臨している - 13節

13御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。

God came to our rescue and brought us into the kingdom of His Son, Jesus Christ. Though not the same as a worldly kingdom, Jesus admitted to Pilate that He is indeed a KING!

神は私たちに救ってください、御子イエス・キリストの御国に、私たちを連れて行ってくださるのです。この世の王国とは違いますが、イエスはピラトに、ご自分が本当の王であることを認めたのです。

John 18:36~37 - <sup>36</sup> Jesus said, "**My kingdom is not of this world.** If it were, my servants would fight to prevent my arrest by the Jewish leaders. But now **my kingdom is from another place.**" <sup>37</sup> "You are a king, then!" said Pilate. Jesus answered, "You say that **I am a king.** In fact, the reason I was born and came into the world is to testify to the truth. Everyone on the side of truth listens to me."

ヨハネによる福音書18章36-37節—イエスはお答えになった。「わたしの国は、この世には属していない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡されないように、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、**わたしの国はこの世には属していない。**」37そこでピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。「**わたしが王だ**とは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。」

Then, after His resurrection, Jesus Christ declared the extent of His rule now includes both heaven and earth!

そして、イエス・キリストは復活の後、自分が天と地の両方を支配していると宣言されました。その宣言がマタイによる福音書 28章に書かれています。

Matthew 28:18 - Then Jesus came to them and said, "**All authority in heaven and on earth** has been given to me."

マタイによる福音書 28章18節—18イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは**天と地の一切の権能を授か**っている。

Ephesians 1:20~22 – He [God] exerted [power] when he raised Christ from the dead and **seated him at his right hand in the heavenly realms,** <sup>21</sup>**far above all rule and authority, power and dominion, and every name** that is invoked, not only in the present age but also in the one to come. <sup>22</sup> And **God placed all things under his feet** and appointed him to be **head over everything** for the church

エペソ人への手紙 1章20-22節—20神は、この力をキリストに働かせて、キリストを死者の中から復活させ、天において御自分の右の座に着かせ、**21すべての支配、権威、勢力、主権の上に置き、**今の世ばかりでなく、来るべき世にも唱えられるあらゆる名の上に置かれました。22神はまた、**すべてのものをキリストの足もとに従**わせ、キリストを**すべてのものの上にある頭**として教会にお与えになりました。

The Book of Revelation also confirms Christ's *supremacy*.

黙示録もまた、キリストの至高性や卓越性について、次のように書いています。

Revelation 17:14 - They will wage war against the Lamb [a metaphor used of Jesus], but the Lamb will triumph over them because **he is Lord of lords and King of kings**—and with him will be his called, chosen and faithful followers.

ヨハネの黙示録 17章14節—14この者どもは小羊と戦うが、小羊は**主の主、王の王**だから、彼らに打ち勝つ。小羊と共にいる者、召された者、選ばれた者、忠実な者たちもまた、勝利を収める。

Revelation 19:16 - On his [Christ's] robe and on his thigh he has this name written: **King of kings and Lord of lords.**

ヨハネの黙示録 19章16節—16この方の衣と腿のあたりには、「**王の王、主の主**」という名が記されていた。

次に、イエス・キリストが卓越した優れた方である理由の二つ目は、『キリストが贖い主である』からです。

## II. He is the Redeemer – verse 14

<sup>14</sup> in whom we have redemption, the forgiveness of sins.

### II. イエス・キリストは贖い主である-14節

14わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。

Here's a profound statement that our Lord Jesus spoke concerning sin.  
主イエスが罪について語られた深い言葉がありますので、その聖書箇所をお読みします。

John 8:34 - Jesus replied, "Very truly I tell you, everyone who sins is a slave to sin."  
ヨハネによる福音書 8章34節—34イエスはお答えになった。「はっきり言うておく。罪を犯す者はだれでも罪の奴隷である。

Is there anyone here who has not sinned? No one? Is there someone you know who does not sin? No one? It's not surprising, right? We know for a fact and from experience that WE are ALL sinners and therefore, slaves to sin. In fact, the Bible says, "**For all have sinned and fall short of the glory of God**" (Romans 3:23).

今、ここに罪を犯したことの無い人はいるでしょうか？ そんな人はいますか？ あなたの知り合いで、罪を犯したことの無い人はいますか？ そんな人はいますか？ 誰でもが罪を犯したことがあるというのは、聞いて驚くような話ではありませんよね。私たちは皆、罪人です。それゆえ、罪の奴隷であることを事実として知っていますし、また経験からも分かっています。実際、聖書には「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ人への手紙 3章23節）と書かれています。

Our sin problem is so serious that it can control us. Can we identify with Paul when he wrote:

私たちの罪の問題はとても深刻で、私たちを支配してしまうほどです。その罪の深刻さについては、パウロが次のようにローマ人の手紙の中で書いています。私たちは、パウロが書いたことに共感できるでしょうか。読んでみましょう。

Romans 7:14~15, 17~19 - <sup>14</sup> We know that the law is spiritual; but I am unspiritual, sold as a slave to sin. <sup>15</sup> I do not understand what I do. For what I want to do I do not do, but what I hate I do.

<sup>17</sup> As it is, it is no longer I myself who do it, but it is sin living in me. <sup>18</sup> For I know that good itself does not dwell in me, that is, in my sinful nature. For I have the desire to do what is good, but I cannot carry it out. <sup>19</sup> For I do not do the good I want to do, but the evil I do not want to do—this I keep on doing. <sup>20</sup> Now if I do what I do not want to do, it is no longer I who do it, but it is sin living in me that does it.

ローマの信徒への手紙 7章14-15、17-19節—14わたしたちは、律法が霊的なものであると知っています。しかし、わたしは肉の人であり、罪に売り渡されています。15わたしは、自分のしていることが分かりません。自分が望むことは実行せず、かえって憎んでいることをするからです。

17そして、そういうことを行っているのは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪なのです。18わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。19わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。

Sin is a cruel taskmaster and freedom can only come from somewhere or someone outside of us. We can never free ourselves from the domineering power of sin. Thankfully, the Son of God, our Lord Jesus is our Redeemer. He is the One who can set us free!

罪は私たちを残酷に支配します。罪から自由になるためには、私たち以外のどこか、あるいは誰かから助けを求めるしかないのです。私たちは自分で、罪の支配的な力から自分自身を解放することは決してできません。しかし、ありがたいことに、神の御子、私たちの主イエスは私たちの贖い主なので、イエス様は私たちを罪から自由にすることができるのです。そのことが、ヨハネによる福音書8章に次のように書かれています。

John 8:35~36 - <sup>35</sup> Now a slave has no permanent place in the family, but a son belongs to it forever. <sup>36</sup> So if **the Son sets you free, you will be free indeed.**

ヨハネによる福音書 8章35-36節— 35奴隷は家にいつまでもいるわけにはいかないが、子はいつまでもいる。36だから、もし子があなたたちを自由にすれば、あなたたちは本当に自由になる。

Paul affirms this truth in the same epistle to the Romans.

Romans 7:24~25a - <sup>24</sup> What a wretched man I am! Who will rescue me from this body that is subject to death? <sup>25</sup> Thanks be to God, who delivers me **through Jesus Christ our Lord!**

パウロは、同じローマ人への手紙の中で、この真理を次のように断言しています。

ローマの信徒への手紙 7章24-25節— 24わたしはなんと惨めな人間なのでしょう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救ってくれるでしょうか。25わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。このように、わたし自身は心では神の律法に仕えています、肉では罪の法則に仕えているのです。

Jesus saves us from our sins. We have been released from the bondage of sin through the payment of Jesus' blood shed on the cross for us.

イエス様は、私たちが罪から救ってくださいます。私たちのために十字架で流されたイエスの血によって、私たちは罪の束縛から解放されたのです。マタイによる福音書20章28節には、次のように書かれています。

Matthew 20:28 – “Just as the Son of Man did not come to be served, but to serve, and to **give his life as a ransom for many.**”

マタイによる福音書 20章28節—28人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのと同じように。」

APPLICATION: Are you struggling with sin? Come to Jesus and ask His help. He is the One who can set you free!

あなたは罪のことで悩んでいませんか？イエス様のところに来て、助けを求めてください。イエス様はあなたを罪から自由にしてくださいます。

**Jesus Christ is supreme** not only because He is **King and Redeemer**, the One who has the power to set us free from sin. He is also supreme in the sense of Him being...

イエス・キリストが卓越した優れた方だというのは、イエスが王であり、贖い主であり、私たちが罪から解放する力を持っておられるから、というだけではありません。イエス・キリストが卓越した優れた方である三つ目の理由は、『見えない神の姿をしている方』だからです。

### III. He is the exact representation of the invisible God – verse 15a

<sup>15</sup> *The Son is the image of the invisible God...*

#### III. イエス・キリストは、見えない神の姿をしている- 15節a

15御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。

と、15節には書かれています。

No man has ever seen God, but our Lord Jesus has made it possible for man to have a glimpse of God because He, the 2<sup>nd</sup> person of the Trinity, **has made Him known.**

私たち人間は、誰一人として神を見たことはありません。しかし、私たちの主イエスが、三位一体の第二位に位置する神を知らしめてくださったので、人間が神を垣間見ることができるようになったのです。

そのことが、ヨハネによる福音書 1章に書かれているので、お読みします。

John 1:18 - *No one has ever seen God, but the one and only Son, who is himself God and is in closest relationship with the Father, has **made him known.***

ヨハネによる福音書 1章18節—18いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。

As Jesus Himself said, "**He who has seen Me has seen the Father**" (John 14:9).

イエス自身が、「わたしを見た者は、父を見たのだ」と、ヨハネ書14章9節で言っています。

Hebrews 1:3 - ***The Son is the radiance of God's glory and the exact representation of his being, sustaining all things by his powerful word. After he had provided purification for sins, he sat down at the right hand of the Majesty in heaven.***

ヘブライ人への手紙 1章3節—3御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高い所におられる大いなる方の右の座にお着きになりました。

Jesus accurately and fully expresses the being and perfection of God. That is, by looking at Jesus (as He is revealed in the Word of God), we can see and know the Father, who is invisible!

イエス様は、神が、いかに完全なお方であるのかということをお教えてくれて、神の存在を正確かつ完璧に表現してくれています。つまり、イエス様を見ることによって、私たちは目に見えない父を見、知ることができると、神の言葉の中で明らかにされているのです。

The **supremacy** of Christ is also understood [by virtue of His relation to the created order](#).

キリストの卓越した至高性は、神と神が造ったものとの関係によっても理解することができます。

#### IV. He is the firstborn over all creation – verse 15b

<sup>15</sup> *The Son is the image of the invisible God, **the firstborn over all creation.***

- IV. イエス・キリストは、すべてのものが造られる前に生まれた方である-15節b  
15御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方です。

と、15節には書かれています。

Nowadays, we rarely use the term **firstborn**. When speaking of our firstborn child, we simply say, “**eldest**” or “**the oldest of \_\_\_\_**” (number of children). Say, in our case, “*Jodie is the eldest. She is the oldest of three children.*”

現在では、長子という言葉を使うことはほとんどありません。最初に生まれた子どものことを話すときは、単に「最年長の」または「何人の子どもの中で一番年上の」と表現します。私たちの家族の場合は、「ジョディが一番年上です。彼女は3人の子供の中で一番年上です。」と、表現します。

When referring to Christ as “**the firstborn over all creation**”, one would think that He is the *first one born* (created). Some have therefore concluded from this passage that Jesus is a created being, the first of all God's creations. For example, those who belong to the Watchtower Society (who call themselves “*Jehovah's Witnesses*”) believe it to be so.

キリストを「すべてのものが造られる前に生まれた方」と言うとき、人は最初に生まれた、または最初に造られた者であると考えられるでしょう。そのため、この箇所から、イエスもまた、神に造られた被造物であり、被造物すなわち神が造った全てのものの中の最初の存在であると結論づける人もいます。例えば、「ものみの塔」という団体に属する「エホバの証人」を自称する人々は、そう信じているようです。

**Firstborn** (Greek, *prototokos*) can describe either **priority in time** or **supremacy in rank**. As Paul used it here, he probably had both ideas in mind, with **Jesus being there as Creator before things were created** and **Jesus being of a supremely different order than all created things**.

最初に生まれた子のことをギリシャ語でプロトコスと言います。『長子』すなわちプロトコスという言葉は、時間的な順位か、優劣の順位かのどちらかを表すことができます。パウロはここで、この『長子』という言葉を使ったので、おそらく時間と優劣の順位の両方の考え方を念頭に置いていたのでしょう。それはすなわち、イエスが、被造物が創造される前から創造主としてそこにおられたということです。そしてそれは、イエスが、すべての被造物とは異なる最も優れた順位をもっておられるということを意味するのです。

Again, please take note that the term, **firstborn** is also used in the Bible as a metaphor to describe **one who occupies the rank and privilege of being firstborn** (without literally being "firstborn"). For example:

繰り返しますが、聖書では、「長子」という言葉は、文字通り最初に生まれた「長子」でなくても、「長子」としての地位や特権を占める者を表す比喩としても使われていることに留意してください。たとえば、次のような例が挙げられます。

1. God refers to the **nation of Israel** as His firstborn son.
  1. 神様は、イスラエルという民族を長子と呼んでいます。

Exodus 4:22 - Then say to Pharaoh, 'This is what the Lord says: **Israel is my firstborn son**'

出エジプト記には次のように書かれています。

出エジプト記 4章22節—22あなたはファラオに言うがよい。主はこう言われた。『イスラエルはわたしの子、わたしの長子である』。

2. God refers to **David** as the firstborn though he was literally the youngest of eight brothers.

また、

2. ダビデは文字通り8人兄弟の末っ子でしたが、神様はダビデを長子と呼びました。

Psalms 89:20 & 27 - <sup>20</sup>I have found **David my servant**; with my sacred oil I have anointed him. <sup>27</sup> And I will appoint him to be **my firstborn**, the most exalted of the kings of the earth.

詩編には、次のように書かれています。

詩編 89篇20、27節—20 わたしは、わたしのしもべダビデを見だし、わたしの聖なる油を彼にそそいだ。27 わたしもまた、彼をわたしの長子とし、地の王たちのうちの最も高い者としよう。

Therefore, any interpretation of the word **firstborn** must be consistent with what is taught about Christ in other parts of the Bible. For one, **Jesus** is clearly proclaimed to be **the creator of ALL things**.

ですから、長子という言葉解釈する時は、聖書の他の部分で書かれているように、キリストについて教えられていること、すなわち『キリストは被造物では無い』ということと矛盾してはいけません。一つの例としては、イエスがすべてのものの創造者であることが明らかに宣言されていることです。

John 1:1~3 - In the beginning was the Word, and the Word was with God, and the Word was God. <sup>2</sup> He was with God in the beginning. <sup>3</sup> **Through him all things were made**; without him nothing was made that has been made.

ヨハネによる福音書 1章とコロサイ人への手紙 1章を、お読みします。

ヨハネによる福音書 1章1-3節—1:1初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。1:2この方は、初めに神とともにおられた。1:3すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。

Colossians 1:16 - For in him [Christ] all things were created: things in heaven and on earth, visible and invisible, whether thrones or powers or rulers or authorities; all things have been created through him and for him.

コロサイ人への手紙 1章16節—16天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、王座も主権も、支配も権威も、万物は御子において造られたからです。つまり、万物は御子によって、御子のために造られました。

It could not be said that He is the creator of ALL things if He Himself was a created being! This is the reason why the *Jehovah's Witnesses* try to get around these passages by inserting the modifier "OTHER" four (4) times in their *New World Translation of Colossians 1:16~17*:

<sup>16</sup> because by means of him all **other** things were created in the heavens and on the earth, the things visible and the things invisible, whether they are thrones or lordships or governments or

authorities. All **other** things have been created through him and for him. <sup>17</sup> Also, he is before all **other** things, and by means of him all **other** things were made to exist,

The word **other** is NOT found in the original Greek New Testament. And, so to read verse 15 as originally intended and written by Paul, destroys the JW's doctrine that Christ is a created being! Hence, they basically "added" to the Word of God....

もし、イエスキリスト御自身が被造物すなわち造られた者であるなら、御自身がすべてのものの創造者であるとは言えません。これが、エホバの証人が、新世界訳のコロサイ人への手紙1章16~17節で、「他の」という修飾語を4回挿入して、次のように解釈を変えようとする理由なのです。

コロサイ人への手紙 1章16-17節(エホバの証人 新世界訳)—なぜなら、**【他の】**すべてのものは、天においても地においても、見えるものも見えないものも、王座であれ主権であれ政府であれ権威であれ、彼によって創造されたからです。**【他の】**すべてのものは彼を通して、また彼のために創造されているのです。また、彼は**【他の】**すべてのものより前からあり、**【他の】**すべてのものは彼によって存在するようになりました。」

Having pointed that out, one question remains: Why did Paul use the phrase "**firstborn over all creation**" to refer to Jesus Christ?

そのことを指摘した上ですが、実は一つの疑問が残ります。なぜパウロは「すべてのものが造られる前に生まれた方」という言葉を、イエス・キリストのことを指すために使ったのでしょうか。

The short answer is: To simply stress that Jesus is "**supreme**" over all creation.

その答えは、イエスがすべての創造物に対して「最も優れている」ことを単に強調するためでした。

He has all the rights of One as IF He were a "firstborn". In no way does the title **firstborn** indicate that Jesus is less than God. In fact, the ancient Rabbis called Yahweh Himself "**Firstborn of the World**" (quoted by D.Guzik in his commentary on Colossians 1:15).

イエス様は、「長子」であるかのように、最初に生まれた子どもとしてのすべての権利をお持ちなのです。決して、長子という称号はイエスが神より劣ることを意味するものではありません。実際、古代のユダヤ教の指導者であるラビはヤハウエ自身を「世の初子」と呼んでいました(D.Guzikがコロサイ1:15の解説で引用しています)。

## Conclusion/Application

A preacher once said, "*There are two hundred and fifty-six names given in the Bible for the Lord Jesus Christ, and I suppose this was because He was infinitely beyond all that any one name could express.*"

ある説教者は、「聖書には、主イエス・キリストについて256の名前が与えられていますが、これは、主が一つの名前では表現しきれないほど無限大の存在だったからでしょう」と言っています。

Paul, for his part, had certainly come a long way in his understanding of our Lord Jesus Christ since that day he met Him on the road to Damascus! From saying "*Who are you, Lord?*" To proclaiming Jesus to be:

パウロは、ダマスコへの道で主イエス・キリストに出会ったその日から、主イエス・キリストを理解するために、実に長い道のりを歩んできたのです。パウロは、『主よ、あなたはどなたですか?』と聞き、イエスのことを人々に伝えたのでした。

1. The King who reigns
2. The Redeemer
3. The Image of the invisible God
4. The Firstborn over all creation

イエス・キリストは、

1. 君臨する王

2. 贖い主
3. 見えない神の姿をしている方
4. すべてのものが造られる前に生まれた方

なのです。

No wonder our Lord Jesus received so much praise and adoration in heaven.

私たちの主イエスが天国で多くの賞賛と賛美を受けたのも不思議ではありません。イエスに対する賛美のことが、ヨハネの黙示録5章に書かれていますので、お読みします。

Revelation 5:11~12 - <sup>11</sup> Then I looked and heard the voice of many angels, numbering thousands upon thousands, and ten thousand times ten thousand. They encircled the throne and the living creatures and the elders.<sup>12</sup> In a loud voice they were saying: *“Worthy is the Lamb, who was slain, to receive power and wealth and wisdom and strength and honor and glory and praise!”*

ヨハネの黙示録 5章11-12節—11 また私は見た。私は、御座と生き物と長老たちとの回りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の幾万倍、千の幾千倍であった。12 彼らは大声で言った。「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。」

I trust that our own understanding and appreciation of the Lord Jesus has increased today. What else can we do to show our appreciation to Jesus? The best way we can praise Him is by obeying Him. Are you obeying Jesus by living faithfully as His disciple?

今日は、これまでのお話で、私たち自身の主イエス様への理解と感謝が深まったと、私は信じています。イエス様への感謝を表すために、私たちは他に何ができるでしょうか。私たちが主を賛美する最善の方法は、主に従うことです。あなたはイエス様に従っているでしょうか、イエス様の弟子として忠実に生きているでしょうか？

お祈りしましょう。

*Let us pray...*